

# パソコン 玉手箱

新聞で一般常識的な情報は得られると思いますが、もう少し踏み込んだ情報が必要な場合、貴方はどうしていますか。インターネットでは探し出すコツさえマスターすれば割りと簡単に必要な情報を探せます。例えば毎日うんざりするほど繰り返し放送されるカレー毒物混入事件。事件の経緯を知るにはテレビや新聞で十分ですがその裏の犯罪心理等になるとたまにしか取り上げられないのではないのでしょうか。検索ホームページで「カレー毒物」と検索すると下記のページが出てきました。

<http://www2.n-seiryu.ac.jp/TEACHER/usui/news2/curry/index.html>  
最近の一連の事件に関しての経緯と少し変わった角度から取り上げ

てあります。

そしてもう一つ気になるのが最悪の不景気。大手電機会社等のボーナス支給額は過去最低といわれながらも景気の良い数字が発表されていますが、経済企画庁等の作っているホームページには最近の数字が掲載されています。貴方の会社の今後の戦略を練る上での参考になる数字が載っているかも知れませんのでご紹介しておきます。

<http://www.epa.go.jp/j-j/doc/menu.html>  
(お詫び)  
前回インターネット玉手箱に掲載いたしましたURLが違っておりまして訂正とともにお詫びを申し上げます。コロン (:) の所がカンマ (,) になっておりました。正しくは  
<http://village.infoweb.or.jp/~fw1982/ikisatu.html>です。

## 聞いてごしない Part 12

動く絵画

前回の聞いてごしないで、たそがれ桃次郎氏がガーデニングについて歴史を踏まえて書いておられました。日本人のライフスタイルが変化していく中で、健康的な余暇の使い方が変わっていく様が、楽しく伝わってきました。ガーデニングと似た者に、鑑賞用水槽があります。最近では少しブームが去って落ち着いた状態かもしれません。綺麗な水槽を覗いていると、なぜかしら心が安らぐものです。当然、我々が住んでいる地域で、熱帯魚が泳いでいる姿を自然の中で見る事は、なかなか困難です。従って鑑賞用水槽は、作者の趣味によって熱帯の海にしたり、川にしたり、山の中にしたりして自然界を部屋の中に作り出した物です。完成した水槽も、しばらく時が経つと中の様子が、だんだんと悪い方向に変わっていきます。水の色が濁ったり、藻が着いたり、最悪の場合、魚が死んでしまったり。これが、動く絵画の作者の最初のストレスとなり、やめてしまう原因にもなります。しかし、これらは当たり前の事で、水槽の中に入っている物すべてが、生き物ですから、様々なタイミングで少しだけ、作者が手を加えてやれば良いのです。これをクリアすると、次に見れるのが産卵です。狭い水槽の中で、子孫を残そうと、精一杯オスメスが頑張ります。一番手軽なのがグッピーだと思えます。オスがメスをおっかけまわし、性器をつっこみ、メスは数日後、お腹の中に子どもの目玉がたくさん見える様になり、お尻のあたりから、ピピッと5mm位の子どもを、うんこの様に出していきます。せっかく自分の部屋で子どもが採れたら、次は大きくしてやろうと思うのが親心。新しい事が次から次へと始まります。今、日野川を制作中です。川から石や木を拾い、草をむしり、中には5匹のフナ子が泳いでいます。参照ハンサムNo.105

刈り上げボタンダウン

## 連絡事項

所属企業の変更



平野 忠司  
真夢・(DAY LOUNGE 夢)  
建設アドバイザー・(軽食・喫茶)  
〒683-0802 米子市東福原8-13-13  
(米子市弥生町1)  
TEL 34-6357  
FAX 35-5508

コピーをして名簿にお貼り下さい

(広報)  **濱 勇二郎** A型  
(有)研創板金 代表取締役  
建築板金  
〒684-0071 境港市外江町2129-3  
TEL 44-3494  
FAX 42-4057  
〈自宅〉境港市外江町2129-3  
〒684-0071 S36.2.11 TEL 44-3494

(コメント)  
この度、11月より鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させて頂きました有  
限会社研創板金の濱と申します。  
よろしくお願ひ申し上げます。  
中央会広報委員会へ配属になりました。何も判りませんが努力して行きます。  
何かと面倒を御かけしますが、皆様と一緒に頑張りたいと思ひますの  
で。何卒、よろしくお願ひします。

(総務)  **若槻 聡** B型  
(有)米子市広告センター 代表取締役  
新聞折込広告代理業  
〒683-0853 米子市阿三柳340-2  
TEL 29-2121  
FAX 29-5239  
〈自宅〉米子市博労町4丁目342番地  
〒683-0052 S35.2.18 TEL 33-3008

(コメント)  
この度、鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させて頂きました、若槻聡と  
申します。  
中央会に入会させて頂きましたことにより、各分野でご活躍なさっておられ  
ます会員の方々とお付き合いをさせて頂き、とかく狭くながちな私自身の視  
野を広げ、より大きく成長出来ればと考えております。  
何分まだまだ未熟ですので、ご指導のほど宜しくお願ひ致します。

## 12月例会案内

と き 平成10年12月15日(火)  
と ころ ホテルサンルート米子  
内 容 忘年例会  
担 当 21地球・げんこつ委員会

## 12月役員会報告

12月定例役員会が平成10年12月1日(火)、米子国際ホテルに於  
いて開催された。当日の主な議題は、次の通りです。  
(1) 12、1、2月例会開催の件  
(2) 厄落としの会開催の件  
(3) その他  
※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

## 編集後記

この頃、夜の巷で中央会会員をよく見かけるようになった。お互い  
意気揚々の状態である。例会や委員会で見かける姿は随分違った雰  
囲気だが、出会った時は、挨拶の一つもしようじやないか。但し、  
女性同伴の時は、見て見ぬ振りも礼儀の一つですぞ。

# Handsome

1998.12 No.136

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 宮廻 裕和 編集責任者 中津尾 直己 印刷所 東京印刷(株)

## 11月例会報告



11月16日(火)  
19:00より米子コ  
ンベンションセン  
ター(ビッグシッ  
プ)小ホールに於  
いて、11月例会が  
行われた。



会員全員で綱領唱和の後、宮廻会長が挨拶され、本日の  
例会の趣旨のお話があった。その後、新しく入会された濱  
勇二郎会員と、若槻聡会員の2名に中央会バッジの授与が  
行われた。また、皆生トリアスロン協会の伊坂博実行委  
員長より当会に要請のあったマラソン部長とボランティア  
部長の派遣に対し、後藤秀之会員、原田比登志会員が各々  
の部長として頑張ってもらおう宮廻会長より委嘱状が手渡  
された後、引き続き委員会タイムに入った。今月は政治行  
政委員会の担当で先月、市町村合併先進地視察の為、宮廻  
会長他5名の会員が行かれた兵庫県多紀郡篠山町の合併の  
現状と問題点について、浜田県出向より報告があった。そ  
の報告の中で、多くの視察団が来られる中で、青年中央会  
の様な一般市民団体が視察に来られるのは、初めてである  
との事に、合併問題に対する民間の関心の低さが感じられた。

今月の講演は、青年中央会のOBまた、現会員でもいら  
っしゃる県議会議員3名と市議会議員3名をお招きしてパ  
ネルディスカッション方式で行われた。演題は、『市町村合  
併問題を考える』“みんなで考えよう、21世紀の鳥取県西部  
地域”で政治行政委員会の浜義徳委員長がコーディネータ  
ー役で行われた。



パネラー

- 鳥取県議会議員 松田 一三氏 (第7期卒会 米子市)
- 鳥取県議会議員 石黒 豊氏 (第7期卒会 境港市)
- 鳥取県議会議員 湯原 俊二氏 (現会員 米子市)
- 米子市議会議員 山形 周弘氏 (第14期卒会 米子市)
- 米子市議会議員 斉木 正一氏 (第18期卒会 米子市)
- 米子市議会議員 藤尾 信之氏 (第18期卒会 米子市)

始めにお一人ずつ御挨拶を頂いた後、コーディネーター  
からの質問により、ディスカッションが始まった。合併の  
賛否、必要性の質問に対し各パネラー全員が賛成であり必  
要であると力説された。理由として、拠点都市とする所が  
無ければ軸が形成出来ない。行政負担の軽減とコストダ  
ウンが図れる。少子高齢化社会に対する福祉の充実、施設  
の整備が効率よくできる。いずれ来る地方分権に対応できる  
体制作りが必要。地方交付税、地方自主財源の有効利用が  
できる。などの話をされた。その後、コーディネーターか  
ら合併障害、合併時期、合併の範囲他、などの質問が次々  
と出されて行ったが、各パネラーから身近の所から分かり  
やすくお話を頂き、時間が経つのを忘れるぐらいの活発で  
有意義な例会であった。また、なぜ市町村の合併が必要なの  
かがより鮮明に見えてきた。

最後に、6名の議員の皆様方におかれましては、過密ス  
ケジュールの中、時間調整をして頂き誠に有り難うござい  
ました。





# 第50回中小企業団体全国大会開催される



10月29日に阿波おどりで有名な徳島県徳島市のアクティイ徳島で全国各地より総勢5000名を迎え第50回中小企業団体全国大会が開催されました。

今年度は「和と輪で築いた半世紀 創意で挑戦新世紀」で示されているように中小企業が半世紀、相互の信頼で築いた組織を経済活動の源泉として、幾多の困難を乗り越え新たに21世紀へのメッセージとしたものが今大会のテーマとのことです。

また、今回我が西部青年中央会の事務部門をお世話頂いている足立支所長代理が、中央会優秀専従者として全国表彰を受けられました。名誉な賞です。

鳥取県は親会の鳥取県中小企業団体中央会の皆様をはじめ東部、中部、西部の青年中央会31名で参加、西部青年中央会は宮廻会長等計10名が参加しました。

米村県会長の発案で参加者全員1台のバスで親睦をはかりながら行くとのこと東部、中部の会員の皆様は、早く出て遅く帰る工程で大変ご苦勞様でした。とても楽しく親睦

出来ました。

前日の28日に出発、めざましい速さで復興をとげた神戸で一泊。

早朝、4月開通した明石海峡大橋を渡り徳島に入りました。遙か下界に渦潮を見ながら走る光景は、とても雄大な自然と温かいふるさとの心を感じました。

大会は開会宣言に始まり、各界のご祝辞大会宣言の後、次期開催県沖縄を紹介され閉会されました。

ただ残念なのが開会に遅れたのが悔やまれます。(次年度は計画を密に)ともあれ全国大会に参加した会員は、全員今後ますます自己の研鑽が必要と感じられたと思います。是非99年は貴方も参加しよう。

追伸

神戸の夜は書かれたら困る同士の多い為割愛します。(卒業まじかの会員より)



# 青経連合同講演会

平成10年11月10日(火)米子市福祉保健総合センターふれあいの里大会議室に於いて、1998年度青経連合同講演会が行われた。19時に開会、(社)米子青年会議所青戸悟志理事長が開会挨拶を行い、(社)境港青年会議所 福島法爾理事長が趣旨説明並びに講師紹介を行った。

今年度の講演会は(財)水戸市住宅公社理事長 元常澄村村長 渡辺茂昌氏を迎え「水戸市と常澄村の合併経過について」と題しての講演であった。講演内容は水戸市と常澄村がなぜ合併をしなければならなかったのか、合併をするための障害、合併をした後のメリット・デメリットを当時の常澄村

の村長として、いろいろな体験をもとに話が進められた。合併をするメリットは低コスト・高効率・人件費の削減、デメリットは田舎のサービスがなくなるなどのこと



がある。しかし合併をするのに大切なことは、メリットも大切だが、時期・人と人とのつながりによるところが大きいということをも強調されていた。

現在、地方分権・市町村の合併の話はよく聞き決して避けては通れない問題であり、ある政党では3300ある自治体を徳川幕府時代の300の自治体(現在の10分の1)にすれば10兆円の削減になると言われている。しかし、行政も企業もそうだが、そうすれば費用が減るとわかっていても、長年のシステムの固定化による思想の相違・郷土愛・人と人の利害関係があり、なかなか思うように行かないのが現状である。しかし、今後は住民に理解を求め、個人の利害にとらわれない行政の指導と、常澄村の村長のような決断を期待してやまない。

最後に4団体から1名ずつ質疑があり、米子商工会議所青年部 落合伸介会長より謝辞が送られ、青経連合同講演会を終了した。

# 11月度委員会報告

## 経営委員会

平成10年11月5日(木) 於:ホールサムインかいけ 出席者/14名  
内容/役員会報告の後、内部講師として当委員会の住友生命の佐々木竹仁会員に「ビッグバンのその後」と題して講演して頂いた。

今年の1月例会で、講師としてお招きした住友生命総合研究所の市来治海氏より送られて来た資料を元に、今後の金融ビッグバンのスケジュールとその内容について、わかりやすく説明して頂いた。また、金融ビッグバンに伴って変化及び新しく開発された保険について自社PRを含めながら聞かせて頂いた。

質疑応答では、最近話題の和歌山県の某夫婦の話もでて、盛り上がりが散会した。

## 21地球委員会

平成10年11月9日(月) 於:米子食品会館 出席者/12名  
内容/1. 役員会報告

2. 12月担当例会の打ち合わせ(担当例会の役割分担)

3. 環境問題の勉強会

講師 内部講師(磯田会員)

地球は今...ダイオキシン入門

a. 日本と外国との排出基準値の違いが日本は非常に低く設定してありそれらの改善がまだ行われていない状況であることが分かった。

b. どのような物が駄目なのか、(1)缶ビール(2)缶ジュース(3)ペットボトルと色々あるそうでこれから私たちは何を食べて、飲んで、吸ったら良いのか分からなくなるほどでこれからの私たちの大きな課題だと痛感した勉強会でした。

平成10年11月25日(水) 於:海潮園 出席者/9名

内容/1. げんこつ委員会と合同特別委員会

2. 12月担当例会の打ち合わせ(担当例会の役割分担)

その後酒を酌み交わし酔いが回ってからコンパニオンとアトラクションの予行練習を念入りに行いタイムスケジュールを完成させた。

## 2020グランドデザイン委員会

平成10年11月6日(金) 於:鳥取県西部トラック事業協同組合 出席者/13名

内容/1. 役員会報告

2. 協議事項

さんれいフーズ(永田会員)を例に取った企業分析及び検討。

3. その他

12月忘年委員会について

## ビジネス交流委員会

平成10年11月10日(火) 於:米子食品会館 出席者/12名

内容/・役員会報告(委員長)

・TSCビジネス情報誌(仮称)の依頼原稿の収集状況の報告。

今後のスケジュールの確認。

最終メチ 11月例会時、その後最終入力打ち合わせ。

・委員会ビジネスタイムでは、小林・植田・小椋の各会員より、各会社の業務説明、業界の最近の動向、問題点etc. それぞれ発表して頂き、質疑応答も活発となり、予定時間をはるかにオー

バーし、委員会終了間際まで行った。

## 政治行政委員会

平成10年11月4日(水) 於:大連 出席者/14名

内容/・会長挨拶

・副会長挨拶

・役員会報告

・11月例会(担当例会)の最終打ち合わせ

・11月例会会場(米子コンベンションセンター)に行き各委員の役割分担の最終チェック

会長も参加して頂き、夜遅くまで打ち合わせしました。

## 地域ビジョン委員会

平成10年11月12日(木) 於:夢みなのタワー 出席者/12名

内容/1. 1月担当例会の打合せ

2. 講師 境港市観光協会 伊達憲太郎氏をお招きして、「観光振興における広域連携」と題し、なぜ連携が必要なのか、また、県及び市町村そして民間などで構成される様々な「広域観光ネットワーク」の紹介がなされた。

最後に、行政レベルよりも民間レベルの方が話がスムーズであると締めくくられた。

## げんこつ委員会

平成10年11月5日(木) 於:大連 出席者/10名

内容/・12月忘年例会の打ち合わせ

## 広報委員会

平成10年11月4日(水) 於:ホールサムイン皆生 出席者/10名

内容/・役員会報告

・第5回「ハンサム」編成会議

## 総務委員会

平成10年11月8日(日) 於:境港 スナック忍 出席者/12名

内容/10月3日に行われたOB交流会の打ち上げを行った。

当日お手伝い頂いた境港有志の方、経営委員会のメンバーの方もお集まりになり、御協力のお礼をさせて頂いた。

次いで、新入会員 米子広告センター若槻聡さんの紹介をした。これからの活躍を期待して、メンバー一同で歓迎した。

境港で行った事もあり、今月入会のもう一人研創板金 濱勇二郎さんと一緒にあいさつをしてもらいました。

楽しい時間は、あっという間に過ぎ、帰りは奥森経営委員長より、何パイものカニ、箱一杯のどろえび、スモークサーモンをお土産に頂き、笑顔で皆二次会会場へ移った。

奥森委員長ありがとうございました。

最後に改めて、境港有志の方々、経営委員会の方々、堀田、市位両副会長、手前みそながら総務委員会のみんな、本当にお世話になりました。皆さんの流した汗は、必ず報われます。ありがとうございました。

## 25周年特別委員会

平成10年11月6日(金) 於:東亜青果会議室 出席者/6名

平成10年11月20日(金) 於:ビッグシップ第1会議室 出席者/6名

内容/11/6 説明会準備、打ち合わせ

11/20 25周年説明会

# 新入会員 オリエンテーション



11月24日(火)米子国際ホテルに於いて、新入会員の為のオリエンテーションが、宮廻会長、堀田副会長、景川、藤森、谷口監事、武海総務委員長、新入会員9名、計15名で堀田副会長司会のもとで行われた。

宮廻会長の歓迎の挨拶があり、続いて出席者全員の自己紹介をした後本題に入った。最初に宮廻会長より今年度の事業計画について説明が行われ、その中で来年で25年の節目を迎えるに当たって、もう一度一からスタートする気持で、今年度の各事業目標を実施して行きたい。そして、今現在この不況、不景気の時に中央会としての役割が地域経済の中に求められていると述べられ

た。続いて景川監事より、組織の仕組みについて説明があり、経営の近代化、合理化、経済的地位の改善などの目的で組織が作られているとの事であった。次に藤森監事より西部青年中央会の歩みについて説明があり、ビデオを見ながら歴代の会長の経緯を学んだ。次に武海総務委員長より今年度委員会活動について説明があり、各委員会の内容が理解できた。最後に谷口監事より新入会員の心構えについて説明があり、会則、規約を再確認した。

今日、オリエンテーションの話の中で、まず鳥取県西部中小企業青年中央会の名前・綱領を覚える事、そして、必ず例会、委員会に出席をして、規律、組織を守りながら自信を持って今後活動し、何事も進んですれば自然と色々な面でプラスになり、結果的には大切な、かけがえのない友達、仲間が増えてくると言う事を実感した。これからも新入会員一同、頑張ってください。ご指導の程宜しくお願い致します。(10月入会 金田和成)